

校名	府立吹田高等学校
校長名	大川 賢司
開催日時	令和 7 年 11 月 21 日(金)14 : 30～16 : 30
開催場所	府立吹田高等学校 本館 2 階 会議室
出席者（委員）	岡崎守夫会長、北波道子副会長、樋口由美子委員、酒井睦美委員、三輪哲也委員
出席者（学校）	大川賢司校長、浅尾義和教頭、島田敬三事務長、加藤靖史首席、中田恵美教諭
傍聴者	0 名
協議資料	令和 7 年度 学校経営計画及び学校評価、アンケート調査結果まとめ
備考	

議題等（次第順）
<ul style="list-style-type: none"> ・授業見学 ・アンケート（魅力化アンケート、授業アンケート）紹介 ・令和 7 年度学校経営計画の進捗状況 ・進路、広報の説明 ・学校行事、修学旅行の報告
協議内容・承認事項等（意見の概要）
<p>○アンケート及び令和 7 年度学校経営計画の進捗状況について以下の通り質疑応答・意見交換を行った。</p> <p>意見：授業アンケート結果では英語の評価が高い。吹田高校の授業見学をしていて教員と生徒の距離感が良い意味で近く、生徒が自分の考えや思いを教員に表現できるように工夫されていると感じた。 この授業スタイルは中学校でも参考にしたい。</p> <p>回答：英語は説明を聞くだけではなくペアワークや音楽を聴くなど授業展開のバリエーションがあるための結果ではないかと考えられる。また、英語がしゃべれるようになればいいなと思っている生徒は一定数いるのではないかと。</p> <p>意見：鳳志会より、より魅力ある学校にしていくために特色のある部活動の強化やアピールを学校紹介に入れていくのはどうか。ニュースで府立高校にリフォーム工事が入るという内容のものがあつたが吹田高校も該当するのか。</p> <p>回答：リフォームの件は詳細がわからない。内容としては府立学校の床をきれいにするというものだが学校内すべての床が張り替えになるのではなく一部だと聞いている。 特色のある部活動としては『模型工作部』は府立高校にはほとんどないのでアピールポイントになるのではないかと。</p> <p>意見：今の学生は長い集中力が持たない。高校でも対集団で話をされると話が入らない生徒が増えているのではないかと。学校内の環境を整えることも大切だが話を聞く体制づくりなど、主担当の教員にアシスタントのような人をつけるといった人員配置の予算が必要になっていくのではないかと。</p> <p>回答：原因はわからないが、本校だけでなく子どもの集中力や注意力が全体的に下がっているように現場も感じている。子どもが時代とともに変わってきているのに対して、学校現場も変わっていく必要がある。個別最適な学びを充実させることができるような人員配置がなされればよいと考えてい</p>

る。

質問：魅力化アンケートで吹田高校に関する情報は誰から入手したか？という問いに対し、先輩や知人という回答が一番多かったが実際先輩たちの声をどういった手段で中学生に伝えているのか。

回答：学校として母校訪問などは特に行っていないので地元どうしの繋がりで情報を教えてもらうことが多いのではないかと。第2回学校説明会では、教員ではなく生徒会役員のメンバーが司会をし、3年生が舞台に上がりインタビュー形式で質問に答え、吹高生の生の声を届けるようにしている。施設案内も有志の生徒が案内をする形で行っているの、こういった姿を見て吹高生のイメージを持ち、学校選びの参考に繋がっているのではないかと。

質問：魅力化アンケートで府立高校の情報を集め始めた時期がいつかという質問に中3の3学期という回答が多い結果だったが、ここまで遅いものなのか？学力層が関係しているのか。

回答：中学校では12月の懇談は私学決めがメインで1月に公立の懇談をする流れがあるため時期が遅く感じられるような回答だったのではないかと。1学期からでも公立に行く決めてる生徒は一定数いる。

次回の会議日程	
日時	令和8年2月6日（金）15：00～
会場	府立吹田高等学校 本館2階 会議室